

時間割番号／Registration No.	K4503
授業科目名／Course Title	図画工作・美術科教育方法論★（図工・美術科教育方法論）
授業科目名英語／Course Title	Teaching Methods in Art Education
担当教員名／Instructor	竹内 晋平
単位数／Credits	2
授業の方法／Type of class	演習
更新日／Date of renewal	2019/09/01
目的／Course Objectives	この授業では学校での美術科教育を含め、広く生涯学習を視野に入れた教育方法について理解を深める。児童・生徒が学校で図画工作・美術を学べば、成人になったときにどのように影響するのか（しないのか）、また学校からの情報発信による美術の社会浸透についても考察する。
到達目標／Course Goals	なぜ美術科教育が必要なのかという基礎的な意義を理解するとともに、社会における造形活動・創造活動の立ち位置について自身の専門性に基づきながら考察することができる。
資質・能力基準 ／standard of qualifications and abilities	教科内容探求力・教材開発力
授業計画（内容と方法） ／Class schedule	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 広義の美術教育における教育方法</li> <li>2 学校教育と生涯学習との関連</li> <li>3 図画工作・美術科の題材開発①</li> <li>4 図画工作・美術科の題材開発②</li> <li>5 図画工作・美術科の題材開発③</li> <li>6 芸術発信に関連した実践研究①</li> <li>7 芸術発信に関連した実践研究②</li> <li>8 芸術発信のための空間をつくる①</li> <li>9 芸術発信のための空間をつくる②</li> <li>10 芸術発信のための空間をつくる③</li> <li>11 芸術発信のための空間をつくる④</li> <li>12 芸術発信のための空間をつくる⑤</li> <li>13 ポスター発表に向けた論述方法の研究①</li> <li>14 ポスター発表に向けた論述方法の研究②</li> <li>15 まとめ</li> </ol>
テキスト、参考図書、教材等 ／Textbooks	<p>必要に応じて資料を配付する。以下、参考図書。</p> <p>金子一夫『美術科教育の方法論と歴史』中央公論美術出版 2003</p> <p>山本正男 監修『美術教育の方法』玉川大学出版部 1985</p>
評価方法／Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終発表（ポスター作成を含む）で到達目標に照らして評価する（評価割合：50%）</li> <li>・授業内の発表・討論、実践研究への関与、小レポート等（評価割合：50%）</li> </ul>

	※ 欠席が3回以内であることを単位認定の前提とする。
準備学習等 /Preparation Learning	美術教育が人の生涯においてどのような働きをするのかについて、自身の考えを形成しておきましょう。
受講上の注意、メッセージ等 /Caution,Message	文献講読も行いますが、実際に美術館等の施設に出向いて美術教育がどのような機能をもっているのか、それが有効なものになるにはどのような方法が必要なのかについて一緒に考察しましょう。 連絡先： 美術科教育・竹内研究室 (shimpei@nara-edu.ac.jp)